

【公表】 事業所における自己評価結果

事業所名 児童ルームたちキッズ 児童発達支援

公表日

令和6年11月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環 境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋をパーティションで仕切ったり、1階の部屋を活用しています。 ・空間は広くないため、スペースを区切ったり活動を分け有効活用している。 ・利用者を部屋ごとに分けて対応している。 ・個々のレベルに合わせた集団療育を行うため、各部屋をフルに活用して療育を行っています。 ・グループに分かれて活動を行っている。 ・部屋を分けるなど工夫して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育室の間取り、広さが合わないと感じる。 ・人数によっては狭いこともある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・人員は適切だと思いますが、1対1で対応すべき子どもが増え難しいです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の準備など構造化して流れを作り、わかりやすい環境に工夫しています。 ・パーティションを使用したり工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の中央部に構造上必要な柱があるので視覚的に不利なときもあるが、部屋を分けるときなどは便利なきもある。 ・工夫できる箇所には配慮できているが階段、手すり等、工夫しにくい箇所も多い。 ・トイレ等、子どもには使いにくいところも多々あると思う。 ・使いやすいよう工夫はしているが、柱など気を付ける場所はある。 ・元々の部屋の広さや構造があるので、限界がある。 ・階段の高さは子どもには高く昇降しにくい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・カームの部屋を作り、落ち着ける空間を作ってます。 ・教材庫を活用し、カームの部屋を作りました。ただ手作りなので壊れやすくしっかりした材料で作り直す必要があります。 ・カームの部屋を作り、落ち着ける空間を設けている。 	
業 務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・できるやり方を見つけ、改善に努めています。 	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・不明。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・機会はあるが充分ではない。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		標準化されたアセスメントツールは用いられていない（個々の実施はある）。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・3グループ（指先・感触・運動）に分かれて話し合っています。 ・各チームで話し合いながら立案を進めています。 ・各グループ（運動・指先・知育・STなど）に分かれて計画を作成しています。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・曜日や子どもの活動が、重なりにくいように考えています。 ・月案や週案などを見返しながら被らないように、また、ステップアップした内容になるように工夫、改善しています。 ・利用児の曜日など確認し、できるだけ同じ内容が続かないようにしている。 	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		グループ分け等を行いながら、それぞれに合う活動内容を提供しようとしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ボードにより、職員配置など職員間で共有できるようにしています。 ・朝礼の時間を設けて情報共有している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・終礼を行い情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・最低半年に1回は面談を実施している。	

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・保護者を通じて、また直接情報共有を必要に応じて行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・必要に応じて担当者会議を実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・必要に応じて情報提供書を作成したり、移行支援会議を行っている。	・学校による。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		・交流の機会があれば、個々の活動内容をより深く知る機会が出来るかと思います。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・日々の活動を写真掲載し、様子を伝えている（口頭・連絡帳等）。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	・親向けの研修会は設けてないが、交流会は実施した。	・保護者を交えた研修会など実施できると良いと思う。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に行っている。	・不明。
保 護 者 へ の 説 明 等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	・保護者交流会を開いています。 ・保護者交流会（夏祭り）が毎年開催されていて良い交流の機会になっているのではないかと思います。 ・参加型の親子レクリエーションを開催している。	・夏祭りはあるが、保護者同士の交流は不明。 ・交流の機会を設けてはいますが、なかなか交流には至らないことも多く、スタッフが仲介に入り交流できるよう、改善していきたいです。 ・交流の機会を設けたいと思われる方がいるので、機会をつくる必要があると思う。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・毎月、避難訓練を取り入れている。	・不明	

	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	・地域の方々と交流することができる機会等作ってもよいのかもしれない。
非常時の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	家族への周知はできていない。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・避難訓練を定期的にしたたり、放デイの男性の先生に不審者役で訓練してもらっています。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		